



共生



認知症の発症を遅らせ、認知症になっても
希望を持って日常生活を過ごせる社会



予防



認知症施策推進大綱 (KPI 74件・評価項目92件)

①普及啓発・本人発信支援

- ・認知症センター養成数 1500万人
- ・市町村における「認知症ケアパス」作成率 100%
- ・全都道府県においてキャラバン・メイト大使（仮称）の設置 等

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ・地域公共交通計画の策定件数 1200件
- ・居住支援協議会を設立した市区町村の人口カバー率 50%
- ・全市町村で、チームオレンジを整備
- ・全若年性認知症支援コーディネーターが初任者研修・FU研修を受講 等

②予防

- ・介護予防に資する通いの場への参加率を8%程度に高める
- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%に向上させる 等

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- ・初期集中支援チームにおける訪問実人数全国で年間40,000件
- ・認知症疾患医療センターの設置数 全国で500カ所
- ・医療従事者・介護従事者に対する認知症対応力向上研修受講者数
- ・認知症カフェを全市町村に普及 等

⑤研究開発・産業促進・国際展開

- ・認知症のバイオマーカーの開発・確立 (POC取得5件以上) 等

認知症の人や家族の視点の重視

- 認知症の人の数は、2025年に約700万人に増加すると推計されている。

- 認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものとなっている。